

安心安全、常に進化を

宇部貨物 新たな福利厚生も



青山社長

【山口】重量物、化成品、高圧ガス、海コンの輸送から倉庫、クレーン、据え付け作業まで、運送を軸に幅広い事業を手掛ける宇部貨物（青山澄男社長、宇部市）。従業員も顧客も、安全で安心できる企業であるために常に改革を行ってきた。

同社は昭和24年に軽貨物事業で創業。同29年一般貨物を始める地元の大手化学メーカーの仕事を中心に関係の仕事を成長。現在、約90台のトラックを保有する。経営の核である安全対策は社長と、子息の青山祥専務などで交代で行う構内の不定期パトロールや新人ドライバーの側乗指導制度を設けている。

なかでも独自に開発した「事故管理システム」は発生した全ての事故（被害側の原因を調査するもの）であり、リーダーが幹部全員で内容を精査した後に、ドライバーに共有する。また、人手不足の対応策の一環で従業員の多能化を進めているという。社長は「これまで液体、ガス、形状が複雑な機械といった特殊な荷物を扱ってきた。今後、このノウハウを一層生かしていく」と展望を話してくれた。（伊藤由貴）

データを蓄積。「1件の事故を深く掘り下げた原因究明が目的。再発防止に向けた指導に活用している」と社長。なお「ドライバーを責めるものではなく、冷静に現場の両方をこなせる『プレイングマネジャー』が6人活躍中だ。

働き方改革では、オールフレックス制度を来春に導入予定。給与が減額しないようにシミュレーションを重ねていった。今後、このノウハウを一層生かしていく」と展望を話してくれた。（伊藤由貴）

な仕事ができるよう資格取得や訓練をしておくべき」と考え、すでに管理職と現場の両方をこなせる「アドバイザー」が6人活躍する」と、利用の広がりを期待している。社長は「これまで液体、ガス、形状が複雑な機械といった特殊な荷物を扱ってきた。今後、このノウハウを一層生かしていく」と展望を話してくれた。（伊藤由貴）